

7月26日・優勝トーナメント試合状況と個人賞！



個人賞（上の写真左から）

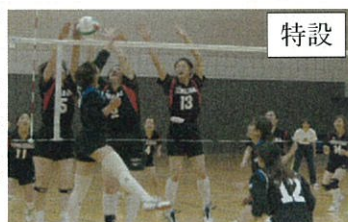
最優秀選手賞＝酒井幸恵さん（帯広市労連） 練習不足で調子が悪かったが、みんなのおかげで勝つことができうれしかったです。全国大会もがんばります。**敢闘賞＝石田由佳里さん（函館市職労）** 練習不足でしたが、このような賞をもらえて本当に良かったです。**レシーブ賞＝佐藤恵さん（函館市職労）** 次回は足がつかないようにがんばります。**アタック賞＝鳴海麻希さん（帯広市労連）** このチームで初めての試合。ここまでできたことは本当に嬉しい。みんなのチームワークのおかげです。**サーブ賞＝国枝ミナさん（帯広市労連）** みんなと試合ができて本当に楽しかったです。**勝利監督賞＝明石 淳さん（帯広市労連）** 青山監督のあとを引き継いで、優勝することができた。来年の全国大会では優勝めざして頑張ります。

30周年記念特別賞（3位）

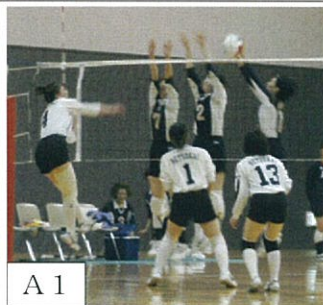
苫小牧市職労（主将・小堀綾子さん） 練習の成果が出せなくて残念。もっと練習をして、来年は優勝めざしてがんばります。（下写真＝苫小牧市職労）



3位4位決定戦（特設1）苫小牧－別海＝激しいシーソーゲーム。両チームとも本日3試合目とあって、疲労の色は隠せず、なかなか1本ずつで切れない中、連続ポイントの取り合いとなった。1セット目は、苫小牧が相手のミスにつけ込み5連続ポイントを奪うなど、優位に進めたものの7－14から別海も脅威の6連続ポイントの取り合いとなったが、4番を軸に攻める別海に対し、左右9番、13番の2枚を中心に攻撃する苫小牧が上回り、2セット連取で勝利した。



特設



A 1

得点で流れを引き寄せ、最後はエース石田のスパイクで試合をしめくくった。

C 1 帯広－平取＝1セット目は、帯広が序盤3番国枝のレフト、8番柚原、2番鳴海のライトからの攻撃でリードし、中盤はラリーの押収となったが9番大久津のサーブエースから一気に流れをつかんで先取。2セット目は、序盤は平取が連続ポイントでリードしたものの、中盤以降は帯広が左右中と使い分けて逆に連続ポイントで逆転。平



C 1

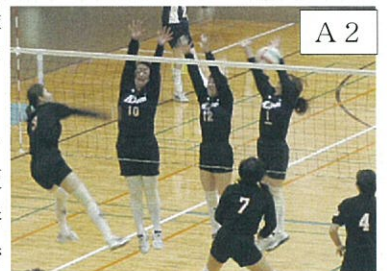
取は執念で帯広の猛攻を拾い上げるも一歩及ばなかった。■平取町職労コメント＝目標を大きく越えることができ、大変満足しています。とても楽しい大会でした。ありがとうございました。**C 2 苫小牧－上川＝**苫小牧が強いサーブと左右からの巧みな攻撃で終始試合を優位に進め、1、2セットを連取した。上川も2セット必死に食い下がったものの、ペースを奪い

切るまでには至らなかった。■上川町職労コメント：昨年と同じ対戦相手だったが、昨年より点を取ることができなかった。残念です。**A 3 別海－函館＝**自力に勝る函館がセッター古川を中心に多様な攻撃で終始別海を圧倒。函館が決勝戦に駒を進めた。**C 3 帯広－苫小牧＝**1、2セットともに帯広が苫小牧に主導権を渡さず、苫小牧に連続ポイントをほとんど許さない守備力が光った。攻撃では3番国枝を中心にしながらも、中右も使い分けて苫小牧を翻弄した。



C 2

A 1 別海－旭川＝ラリーの続く好試合であったが、セッター安部を中心に攻撃を組み立てた別海が要所で得点を重ね、旭川を退けた。**A 2 北見－函館＝**両エースの打ち合いで始まった試合。互いに譲らず迎えたファイナルセット。函館が7ポイント連続



A 2